



第10回

声楽名曲コンサート

2026.9/22 (火・祝) 開演: 13:30 (開場: 13:00)

戸塚区民文化センター さくらプラザ・ホール

ご挨拶

皆さま、本日は声楽名曲コンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、本コンサートも今回で10回目という節目を迎えることができました。日頃より温かいご支援を賜り、会員一同、心より御礼申し上げます。

さて、今年3月には、リベロ・カント (Libero Canto) 歌唱法の創始者であるサモシ先生 (元ウィーン国立音楽大学教授) のお孫様が、カナダより藤沢市の当スタジオをご訪問くださいました。

その際、「祖父のメトードがここ日本でしっかりと受け継がれ、活発に息づいていることに大変感動した」とのありがたいお言葉を頂戴いたしました。

本日はこの優れたホールで、声楽の数々の名曲を皆様にお届けいたします。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

Libero Canto Japan 長谷川 敏

(東京藝術大学、お茶の水女子大学、洗足学園音楽大学講師、茨城大学教授を歴任。二期会会員)



Libero Canto について

20世紀半ば、ウィーンのラヨシュ・サモシ教授によって開発された歌唱法、教授法のこと「自由なる歌唱」の意味です。この歌唱法はイタリアのローマにて「我々が既に忘れてしまったベルカント唱法である」と評価されました。10年前に逝去されたエドウィン・サモシ教授がこれを継承してウィーンやニューヨークを中心に活動し発展させて来ました。Libero Canto Japanの長谷川は、ウィーンで1973年より両教授の薫陶を受け、アジアではただ一人の認定された後継者として、この歌唱法の伝播と発展に努めています。

リベロカントでは先ず各人の持つ歌唱時の悪い癖を取り除きます。そして、ごく自然に楽な息のエネルギーを流して歌っていきます。クラシックの歌唱にありがちな構える、支える、保持する、気張る、響きや声を狙うといったことをやりません。力づくではなく、軽く明るい喉のトレーニングをして、身体本体のもつ自由な働きを引き出します。そして、その人の本当の声のクオリティーと音楽とを正しく出していくものです。この方法は自然であるがために、自分のものにするにはかなりの忍耐の期間が必要ですが、熟達すれば優美で暖かく、音楽性に満ちた歌唱芸術が実現します。

Libero Canto Japan事務局

E-Mail b.i.z.en66@gmail.com

Tel 0466・29・1371